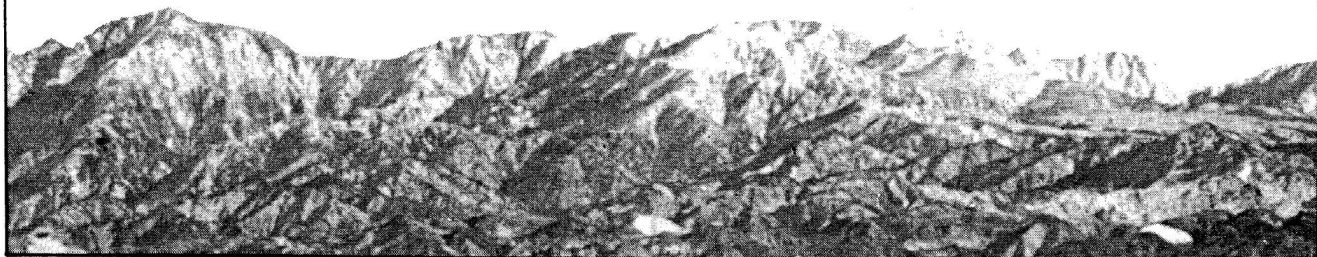


# 富山大学 学報



(題字 大井信一 学長)

## 第294号

### 目 次

学 長 告 辞..... 2	の 内 定 者..... 13
昭和63年度富山大学入学式学長告辞..... 2	人 事 異 動..... 13
関 係 法 令..... 3	学 内 諸 報..... 13
学 内 規 則..... 4	名誉教授の称号授与..... 13
富山大学学則の一部改正について..... 4	学位取得者..... 15
富山大学立山研究室規則の廃止について..... 6	海外渡航者..... 16
富山大学教育学部規則の一部改正について..... 6	職 員 消 息..... 16
諸 会 議..... 11	主 要 行 事..... 17
学 事..... 12	資 料..... 20
昭和63年度富山大学（学部，専攻科，大学院研究科）入学式の举行..... 12	昭和63年度入学者数..... 20
昭和63年度科学研究費補助金（海外学術研究）	昭和63年度学部等学生数..... 22
	昭和63年度聴講生，研究生数..... 24

## 昭和63年度富山大学入学式学長告辞

ただいま入学を許可されました 1,566名にのぼる諸君は、本学の各学部、大学院および専攻科へ、めでたく入学された方々であり、本学の教職員一同、心から祝福を申しますと共に歓迎の意を表します。

平均倍率5倍以上という難関を突破して、めでたく入学された諸君や御家族の方々の喜びはさぞかしと思います。選ばれた者の幸せと誇りを自覚すると共に、本日の感激を忘れることなく、これからの4年間充実した悔のない大学生活を送って欲しいと思います。

さて、昨年から複数受験が可能になったこともあって本学においても入学者に占める他県出身者の割合が増える傾向にあります。さらに今年は共通一次の成績を把握してからの出願にもどりましたので「入りたい大学」より「入れる大学」を求めて受験生が東奔西走する姿が目立ったともいわれています。その結果、合格はしたけれども、本来の希望とは違う大学や学部に入学することになり、どこかもやもやしたものをぬぐいきれないでいる人も少なくないかと思えます。浪人して再挑戦することを決めている者よりも、ある意味で傷口が深いかもかもしれません。しかし、いつまでも狭い受験生心理の枠の中に自分を閉じ込めていては、得るところ少なく、失うものばかり多いと言わなければなりません。同じ世代のうち4割にみえない諸君だけが4年間の大学生活を過ごせることの貴重さを改めて認識し、新たな目的意識を持って頑張るって欲しいと思います。大学へ入学したこと、それ自体はゴールではありません。入学はあくまで出発点であることをくれぐれも忘れず、はるかなる各人の人生に向かって一步を踏み出して欲しいと思います。

ところで、大学が単なる学歴や資格取得の場と化しているとか、レジャーランド化していると言う指摘がなされて久しいと思います。大学も真剣にそのような非難をさける努力をしておりますが、今日の我国の教育風土や社会環境の改革を急がねばならぬ問題も多々あると思います。

その一つは、現代社会が学歴重視の社会であり、学歴により輪切りの評価がなされることであります。もちろん高学歴化は労働力の質を高かめるばかりでなく、有効需要をふくらませ、さらに社会の安定にも大きく役立つわけですから、国や社会の高学歴層に対する需要は増大するばかりで、親や家族にしてみれば、

将来の社会生活における「保険」として自分の子弟に、ひたすら高い学歴をつけさせようとするのもやむをえないことかもしれません。戦後40年の間に高学歴化は非常に進展し、大学の大衆化に拍車をかけたと思います。すなわち、進学率の向上とそれに対応する大学の増設などによって、大学が昔のようなエリート養成を主たる目的とする機関でなくなり、より広い目的を持つようになってきたことから、学生の意識と行動が多様化してきたことは事実であります。

つぎに、高等学校までの教育が厳しい受験勉強に終始するため、大学に入学して息切れがすると共に解放感に浸ってしまうことでもあります。さらに高校における進学指導の在り方が、大学に何を求めるかを考えた大学選択よりも、偏差値にもとづいた入学出来る大学選らびに重点をおくため、進学の目的が明確でなく、したがって学習意欲がない、学習態度が消極的な学生が少なくありません。

また、大学は一義的には学問研究と教育の場であり、学問や人間形成中心の学生対応がなされておりますが、近来、大学教育に対する社会的要請が、あまりにも即効的、実利的なものを求めるのに急なため、大学がそれにこたえきれない憾みがあり、学内外に不満を持つ人も少なくないと思います。

これらの事情から、単位さえとればよいと言う学生が増え、大学生活を単なる慢然とした次の出番を待つモラトリアムの時期に終らせる傾向が見られる事は誠に残念であります。

大学教育は本来、個々の学生がそれぞれ目的とする専門知識を習得し、さらに自らの人格を完成したいと願う本質的な学習意欲にこたえ、これを助ける存在でなくてはなりません。然しながら最近の学生は、自分で考え、判断し、行動する訓練をほとんど受けていないため、大学に入っても自分で考え、積極的に学習に取り組もうとせず、高等学校までの路線を継続して、教えられるだけで満足する受身の勉強に終始するのが精いっぱいようであります。

よくいわれる事ですが、我国の大学は欧米の大学とは対照的に、入学するのは困難であるが、入学してしまえば、ほとんどの学生が卒業できる、別の言葉で言えば、学歴の取得は自明の理であるように思われていますので、単に「学歴」取得を指向する者は、大学生

活の目標を見失ない無気力になってしまうのだと思います。諸君は大学における学業であれ、クラブ活動であれ、諸君の大学生活を活性化させるために、自分がほんとうに勉強したいもの、言い換えれば、大学生活に求めるものは何なのかをよく考えなければなりません。その目標へ向って充実した学生生活を送った結果得た学歴にこそ、本当の価値があるのではないのでしょうか。

いよいよ今日から待望の大学生活が始まるわけですが、大学生活は学業にはげむと共に、若い諸君が人生を見つめる大切な場でもあります。読書や課外活動を通じて心を開く場でもあります。諸君の中には受験勉強中心の生活の中で、中学・高校時代に果しておくべき精

神発達段階の課題を残している人、社会性の発達のおくれを示す人も少なくないと思います。スポーツやサークル活動によって、体をきたえ、心を開き、先輩や同輩との交流によって幅広い人格形成につとめ、身心ともに、悔のない充実した大学生活を送ることを期待してやみません。

最後になりましたが、大学院や専攻科へ進学した諸君は、それぞれの専門の分野において研鑽を積まれ、各自の個性と創造性をのびし高度の専門職業人として、はずかしくない一層の学識と広い視野を身につける事を期待します。

簡単ではありますが、これをもって私のお祝いの言葉とします。

## 関係法令

### 法律

- 恩給法等の一部を改正する法律 (20) 4・26  
(注) 恩給年額の計算の基礎となる仮定俸給年額を昭和63年4月分以降、1.25パーセント引き上げること。普通恩給等の最低保障額の増額の改正が行われた。

### 政 令

- 国立学校設置法施行令の一部を改正する政令 (101) 4・8

### 省 令

- 国立の学校における授業料その他の費用に関する省令の一部を改正する省令 (文部11) 4・1
- 文部省設置法施行規則の一部を改正する省令 (同12) 4・8
- 国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令 (同14) 4・8
- 国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する省令の一部を改正する省令 (同16) 4・8
- 国立大学の大学附置の研究所の研究部門に関する省令の一部を改正する省令 (同17) 4・8

- 国立大学共同利用機関組織運営規則の一部を改正する省令 (同18) 4・8
- 義務教育費国庫負担法第2条但書の規定に基き教職員給与費等の国庫負担額の最高限度を定める政令施行規則及び公立養護学校整備特別措置法施行規則の一部を改正する省令 (同19) 4・8
- 国立の学校における授業料その他の費用に関する省令の一部を改正する省令の一部を改正する省令 (同20) 4・12

### 規 則

- 人事院規則 9-1 (非常勤職員の給与)の一部を改正する規則 (人事院 9-1-4) 4・1
- 人事院規則 9-6 (俸給の調整額)の一部を改正する規則 (人事院 9-6-10) 4・1
- 人事院規則 9-7 (俸給等の支給)の一部を改正する規則 (人事院 9-7-3) 4・1
- 人事院規則 9-17 (俸給の特別調整額)の一部を改正する規則 (人事院 9-17-17) 4・1
- 人事院規則 9-42 (指定職俸給表の適用を受ける職員の俸給月額)の一部を改正する規則 (人事院 9-42-3) 4・1

- 人事院規則 9-17 (俸給の特別調整額) (人事院16-3-8) 4・8  
 の一部を改正する人事院規則 (人事院 9-17-18) 4・8
- 人事院規則 9-30 (特殊勤務手当) の一部を改正する人事院規則 (人事院 9-30-6) 4・8
- 人事院規則 16-0 (職員の災害補償) の一部を改正する人事院規則 (人事院 16-0-7) 4・8
- 人事院規則 16-3 (災害を受けた職員の福祉施設) の一部を改正する人事院規則 (人事院16-3-8) 4・8
- 人事院規則 16-4 (補償及び福祉施設の実施) の一部を改正する人事院規則 (人事院16-4-5) 4・8

告 示

- 国立の義務教育諸学校等の児童生徒等についての災害共済給付に係る昭和63年度以後の共済掛金の額のうちその保護者等から徴収する額を定める等の件(文部39) 4・1

学 内 規 則

富山大学学則の一部改正

富山大学学則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和63年4月1日

富山大学長 大井 信一

富山大学学則の一部を改正する学則

富山大学学則(昭和59年3月12日制定)の一部を次のように改正する。

第2条第1項中「幼稚園教員養成課程」を「幼稚園教員養成課程、情報教育課程」に改める。

附則第3項の表工学部の部を次のように改める。

工 学 部	電気工学科	6
	工業化学科	5
	金属工学科	3
	機械工学科	6
	生産機械工学科	5
	化学工学科	6
	電子工学科	6
	計	37

附則第3項の表中「合計 71」を「合計 87」に改める。

別表第1教育学部の項中「幼稚園教員養成課程」を

「幼稚園教員養成課程・情報教育課程」に改める。  
 別表第2教育学部の部を次のように改める。

教育学部	小学校教員養成課程	100	400
	中学校教員養成課程	50	200
	養護学校教員養成課程	20	80
	幼稚園教員養成課程	30	120
	情報教育課程	40	160
	計	240	960

別表第2工学部の部を次のように改める。

工 学 部	電気工学科	56	224
	工業化学科	50	200
	金属工学科	43	172
	機械工学科	56	224
	生産機械工学科	45	180
	化学工学科	46	184
	電子工学科	46	184
計	342	1,368	

別表第2中

「合計 1,386 5,544」を  
 「合計 1,402 5,608」に改める。

附 則

- 1 この学則は、昭和63年4月1日から施行する。
- 2 別表第2に定める総定員は、同表の規定にかかわらず、昭和63年度から昭和65年度までは、次のとおりとする。

学 部	学 科 等	昭和63年度	昭和64年度	昭和65年度
人文学部	人 文 学 科	375人	380人	380人
	語 学 文 学 科	365	380	380
	計	740	760	760
教育学部	小学校教員養成課程	520	480	440
	中学校教員養成課程	200	200	200
	養護学校教員養成課程	80	80	80
	幼稚園教員養成課程	120	120	120
	情報教育課程	40	80	120
	計	960	960	960
経済学部	経 済 学 科			
	昼間主コース	552	576	576
	夜間主コース	60	80	80
	経 営 学 科			
	昼間主コース	492	496	496
	夜間主コース	60	80	80
	経 営 法 学 科			
	昼間主コース	366	408	408
夜間主コース	60	80	80	
計	1,590	1,720	1,720	
理学部	数 学 科	169	172	172
	物 理 学 科	181	188	188
	化 学 科	169	172	172
	生 物 学 科	135	140	140
	地 球 科 学 科	126	128	128
	計	780	800	800
工学部	電 気 工 学 科	212	218	221
	工 業 化 学 科	191	196	198
	金 属 工 学 科	169	172	172
	機 械 工 学 科	212	218	221
	生 産 機 械 工 学 科	171	176	178
	化 学 工 学 科	172	178	181
	電 子 工 学 科	172	178	181
	計	1,299	1,336	1,352
合 計	5,369	5,576	5,592	

## ▶ 富山大学学則の改正理由

昭和63年度に教育学部情報教育課程が設置されること及び昭和63年度から当分の間、臨時増募として工学部の学生定員増を図ることに伴い、所要事項を改める。

定する。

昭和63年4月8日

富山大学長 大井 信一

## 富山大学学則の一部改正

富山大学学則の一部を改正する規則を次のとおり制

## 富山大学学則の一部を改正する学則

富山大学学則（昭和59年3月12日制定）の一部を次のように改正する。

別表第1教育学部の項中

「発達心理学」を  
「発達心理学  
情報処理」  
に改める。

とおりに制定する。

昭和63年4月15日

富山大学長 大井 信一

#### 附 則

この学則は、昭和63年4月8日から施行する。

#### ▶ 富山大学学則の改正理由

国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する省令の改正に伴い、別表第1を改める。

### 富山大学立山研究室規則の廃止

富山大学立山研究室規則を廃止する規則を次のとおり制定する。

昭和63年3月31日

富山大学長 大井 信一

#### 富山大学立山研究室規則を廃止する規則

富山大学立山研究室規則（昭和52年9月30日制定）は、廃止する。

#### 附 則

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

#### ▶ 富山大学立山研究室規則の廃止理由

富山大学立山研究室は、立山山岳地帯における自然科学的研究の場としての目的を昭和63年3月31日をもって終了するため。

### 富山大学教育学部規則の一部改正

富山大学教育学部規則の一部を改正する規則を次の

#### 富山大学教育学部規則の一部を改正する規則

富山大学教育学部規則（昭和27年4月18日制定）の一部を次のように改正する。

第1条の見出しを「（専攻教科及びコース）」に改め、同条に次の1項を加える。

- 5 情報教育課程のコースは、(1) 教育情報コース  
(2) 環境情報コースとする。

第4条中「別表II, III, IV, V, VI」を「別表IIから別表VII」に改める。

第5条第5項中「学生は」の前に「小学校教員養成課程、中学校教員養成課程、養護学校教員養成課程及び幼稚園教員養成課程の」を加え、同条に次の1項を加える。

- 6 情報教育課程については、所定のコースの授業科目50単位を修得し、さらに選択履修したものの24単位及び特別研究10単位と合わせて計84単位以上を修得しなければならない。

第15条中「別表VII」を「別表VIII」に、「別表VIII」を「別表IX」に改める。

第20条中「別表IX」を「別表X」に改める。

第21条中「別表X」を「別表XI」に改める。

別表Iを次のように改める。

別表Xを別表XIとし、別表VIから別表IXまでを1表ずつ繰り下げ、別表Vの次に次の1表を加える。）

#### 附 則

この規則は、昭和63年4月15日から施行し、昭和63年4月1日から適用する。

#### —職員会館の宿泊の御案内—

◎利用日……土・日曜日及び祝日も利用できます!!

◎申し込み…利用日の2日前までに!!

◎門限時刻…午後10時………御協力を………!!

別 表 I

授業科目の区分		課程		小学校教員課程		中学校教員課程		養護学校教員課程			幼稚園教員		情報教育課程						
		教育心理学		教科専攻		甲教科	乙教科	第一類	第二類		養成課程								
		専攻		専攻		専攻	専攻	甲教科	乙教科										
一般教育	人文社会自然 総合科	36		36		36			36		36								
外国語	英語	8	16 【いずれか】 2カ国語 8単位	8	16 【いずれか】 2カ国語 8単位	8	16 【いずれか】 2カ国語 8単位	8	16 【いずれか】 2カ国語 8単位	8	16 【いずれか】 2カ国語 8単位	8	16 【いずれか】 2カ国語 8単位						
	ドイツ語	8		8		8		8		8		8							
	フランス語	8		8		8		8		8		8							
	中国語	8		8		8		8		8		8							
保健体育	講義	2		2		2			2		2								
	実技	2		2		2			2		2								
	計	4		4		4			4		4								
専科	専攻科目	16		50		42		26			22		12 音楽・図画 工作・体育 を各4単位						
	基本科目	12 音楽・図画工作・体育のうち2以上の教科を含む		10 音楽・図画工作・体育のうち2以上の教科を含む		8 音楽・図画工作・体育のうち1以上の教科を含む			(1教科)		(1教科)								
	選択	4				4					6								
	計	16		26		50		42		12				26		22		18	
門教	教材研究	16		16		12 6教科各2単位以上(音楽・図画工作・体育のうち2科目以上含む)													
	教科教育法			3(1教科)					3(1教科)										
	教育原理	4		4		4		4		4			4						
	教育心理	4		4		4		4		4			4						
	道德教育の研究	2		2		2		2		2			2						
	教育実習	4		4		3		4		3			4						
	計	46		36		18		26		16			12						
目	特殊教育(別表IVによる)					25			25										
	幼稚園教育(別表Vによる)											30							
	情報教育(別表VIによる)											50							
	計					25			25			30		50					
	自由選択	22		22		16		24		21		17		21		24		24	
	特別研究	専攻教科につき		専攻科目につき		専攻教科につき			専攻教科につき			10							
	小計	84		84		84			84			84							
合計		140		140		140			140			140							

備考 1 小学校教員養成課程では、音楽・図画工作・体育3教科について基本科目各2単位を履修しなければならない。  
 2 養護学校教員養成課程 第一類は小学校教諭普通免許状を取得する課程である。第二類は中学校教諭普通免許状を取得する課程である。  
 3 幼稚園教員養成課程では、音楽・図画工作・体育3教科について基本科目各4単位を修得しなければならない。  
 4 一般教育科目については、人文、社会及び自然の三分野にわたり、1科目原則として4単位、合計36単位とする。ただし、36単位のうち各分野において2科目8単位、計24単位を修得しなければならない。  
 5 外国語科目については、英語、ドイツ語、フランス語、中国語のうち、2カ国語各8単位、計16単位を修得しなければならない。

## 別表VI

## 情 報 教 育 課 程

授 業 科 目	開設 単位	教育情報コース			環境情報コース		
		必	選必	選	必	選必	選
情報科学概論	2	2			2		
情報処理論	2	2			2		
情報処理演習 I	1	1			1		
情報処理演習 II	1	1			1		
人間工学	2	2			2		
教育情報科学	2	2			2		
データ処理法	2	2			2		
計算機システム概論	2	2			2		
環境科学概論	2	2			2		
行動科学概論	2	2			2		
情報社会論	2	2			2		
人間形成論 I	2	2					
人間形成論 II	2	2					
教育方法学	2		2				
教育工学	2		2				
教育社会学	2		2				
社会教育論 I	2		2				
認知心理学	2	2					
社会心理学	2		2				
教育測定・評価（教育統計）	2		2	14			
教育情報処理	2		2				
比較文化論	2		2				
家族形成論	2		2				
社会調査方法論	2		2				
コミュニケーション論	2		2				
教育情報演習	4		4				
地域環境論 I	2				2		
地域環境論 II	2				2		
地域環境論 III	2				2		
生活環境論 I	2				2		
生活環境論 II	2				2		
生活環境論 III	2				2		
地球環境総論	2				2	14	
地球環境各論 I	2				2		
地球環境各論 II	2				2		
生物と環境 I	2				2		
生物と環境 II	2				2		
物質情報	2				2		
環境測定	2				2		



(自然)環境論演習	2				2	
(自然)環境論実験	2				2	
基礎数理	2		2		2	
解析学	2		2		2	
応用数学	2		2		2	
プログラミング演習	2		2		2	
応用プログラミング	2		2		2	
計測処理法	2		2		2	
情報管理論	2		2		2	
計算機応用科学	2		2		2	
科学技術史	2		2		2	
産業心理学	2		2		2	
言語と言語学	2		2	10	2	10
国語表現論	2		2		2	
英会話	2		2		2	
環境と法	2		2		2	
資源エネルギー論	2		2		2	
環境デザイン	2		2		2	
文化環境論	2		2		2	
図書館情報学	2		2		2	
社会教育論II	2		2		2	
身体論	2		2		2	
運動教育論	2		2		2	
特別講義	8		8		8	
自由選択				24		24
特別研究	10	10			10	
計	142	36	24		36	24
			84			84

備考 自由選択科目は、本課程の専門教育科目及び本学部で開設される他の専門教育科目のうちから自由に選択履修するものとする。

#### ▶ 富山大学教育学部規則の改正理由

教育学部情報教育課程の設置に伴い、所要事項を改める。

#### 富山大学教育学部規則の一部改正

富山大学教育学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和63年4月15日

富山大学長 大井 信一

#### 富山大学教育学部規則の一部を改正する規則

富山大学教育学部規則（昭和27年4月18日制定）の一部を次のように改正する。

別表VIを次のように改める。

#### 附 則

この規則は、昭和63年4月15日から施行し、昭和63年4月8日から適用する。

別表Ⅵ

情 報 教 育 課 程

学 科 目	授 業 科 目	開設 単位	教育情報コース				環境情報コース			
			必	選	必	選	必	選	必	選
情 報 処 理	情報科学概論	2	2			2				
	情報処理論	2	2			2				
	情報処理演習Ⅰ	1	1			1				
	情報処理演習Ⅱ	1	1			1				
	人間工学	2	2			2				
	教育情報科学	2	2			2				
	データ処理法	2	2			2				
	計算機システム概論	2	2			2				
	環境科学概論	2	2			2				
	行動科学概論	2	2			2				
情報社会論	2	2			2					
人間形成論Ⅰ	2	2								
人間形成論Ⅱ	2	2								
教育方法学	2		2							
教育工学	2		2							
教育社会学	2		2							
社会教育論Ⅰ	2		2							
認知心理学	2	2								
社会心理学	2		2							
教育測定・評価（教育統計）	2		2	14						
教育情報処理	2		2							
比較文化論	2		2							
家族形成論	2		2							
社会調査方法論	2		2							
コミュニケーション論	2		2							
教育情報演習	4		4							
地域環境論Ⅰ	2					2				
地域環境論Ⅱ	2					2				
地域環境論Ⅲ	2					2				
生活環境論Ⅰ	2					2				
生活環境論Ⅱ	2					2				
生活環境論Ⅲ	2					2				
地球環境総論	2					2	14			
地球環境各論Ⅰ	2					2				
地球環境各論Ⅱ	2					2				
生物と環境Ⅰ	2					2				
生物と環境Ⅱ	2					2				
物質情報	2					2				
環境測定	2					2				

(自然)環境論演習	2				2		
(自然)環境論実験	2				2		
基礎数理	2		2		2		
解析学	2		2		2		
応用数学	2		2		2		
プログラミング演習	2		2		2		
応用プログラミング	2		2		2		
計測処理法	2		2		2		
情報管理論	2		2		2		
計算機応用科学	2		2		2		
科学技術史	2		2		2		
産業心理学	2		2		2		
言語と言語学	2		2	10	2	10	
国語表現論	2		2		2		
英会話	2		2		2		
環境と法	2		2		2		
資源エネルギー論	2		2		2		
環境デザイン	2		2		2		
文化環境論	2		2		2		
図書館情報学	2		2		2		
社会教育論II	2		2		2		
身体論	2		2		2		
運動教育論	2		2		2		
特別講義	8		8		8		
自由選択				24			24
特別研究	10	10			10		
計	142	36	24		36	24	
				24			24
			84			84	

備考 自由選択科目は、本課程の専門教育科目及び本学部で開設される他の専門教育科目のうちから自由に選択履修するものとする。

▶ 富山大学教育学部規則の改正理由  
 国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関

する省令の一部改正（昭和63年文部省令第16号）に伴い、所要事項を改める。

諸 会 議

第10回総合大学院検討委員会自然科学部会（4月14日）  
 （議 題）

昭和63年度第1回評議会（4月15日）  
 （審議事項）

(1) 大学院設置について

(1) 昭和63年度理学部物理学第2次募集の合格者

の判定について

- (2) 富山大学教育学部規則の一部改正について
- (3) 富山大学名誉教授称号授与について
- (4) 学生の除籍について
- (5) 編入学（学士）について

#### 第1回事務協議会（4月18日）

（議 題）

- (1) 当面の諸問題について

#### 昭和63年度第1回入学試験管理委員会・第1回入学者 選抜方法研究委員会の合同委員会（4月19日）

（審議事項）

- (1) 「大学入試改革について（報告）」（大学入試改革協議会）に係る意見について
- (2) 昭和64年度富山大学入学者選抜試験の実施に伴う基本方針（案）について

#### 昭和63年度第1回授業料等減免選考委員会（4月21日）

（議 題）

- (1) 昭和63年度学部新入生の入学生の入学料免除者

の選考について

- (2) 昭和63年度大学院生の入学料免除者の選考について

#### 第5回総合大学院検討委員会（4月26日）

（議 題）

- (1) 大学院構想について

#### 昭和63年度第2回補導協議会（4月28日）

（審議事項）

- (1) 第33回大学祭について

#### 庶務係長会議（4月28日）

（議 題）

- (1) さわやか行政サービス運動について
- (2) 入学式等行事について
- (3) 文書処理規則の運用について

#### 昭和63年度第2回学寮補導委員会（4月28日）

（審議事項）

- (1) 寮生との話し合いについて

## 学 事

### 昭和63年度富山大学（学部，専攻科，大学院研究科）入学式の挙行

昭和63年度富山大学（学部，専攻科，大学院研究科）入学式は、4月11日（月）午前10時30分から富山市公会堂において挙行されました。

式典は、新入生1,566名の入学許可宣言にはじまり、学長告辞、部局長紹介のあと、本学合唱団の合唱及びフィルハーモニー管弦楽団による演奏がアトラクションとして行われ無事終了しました。





躍される等、学術の振興及び地域の発展に貢献されました。



**名誉教授**  
**久保和美**  
**北海道帝国大学理学部動物学科**  
**卒業 理学博士**

昭和21年10月北海道帝国大学理学部勤務，同25年4月，富山大学文理学部助教授，同45年11月富山大学文理学部教授に昇任，同52年5月富山大学文理学部改組により富山大学理学部教授となり，41年余りの永きにわたって生物学を担当され，常に厳正な教育姿勢のなかにも終始懇篤な温情をもって，学生を教育・指導され，多数の優秀なる教育者・技術者・研究者の育成に貢献されました。

この間，昭和52年環境生物学講座の創設など，理学部生物学担当教官として理学部及び生物学科の整備・充実に尽力されました。

一方，研究面では，先ず，ヒトデの個体発生の全過程を日本で最初に明らかにした。この研究は，今日においても，なお高い評価を受けています。続いて，当時としては画期的な免疫学的手法を分類学に導入して，ヒトデの類縁関係を明らかにし，また，近年は，理論生物学の分野において，特に，複雑な生体反応の活性化エネルギーが温度によって変化する現象を解析するために必要な優れた判別式を考案し，その有用性が世界的に高く評価されています。

また，長年動物学会会員として活躍され，特に，第58回大会においては総会議長を務めるなど，学会の発展に寄与されました。



**名誉教授**  
**中村良郎**  
**東京教育大学大学院理学研究科**  
**博士課程修了 理学博士**

石川県公立学校教諭などを経て，昭和34年4月富山大学文理学部助手，同37年7月富山大学文理学部助教授，同40年5月富山大学文理学部教授に昇任，同52年5月富山大学文理学部改組により富山大学理学部教授となり，31年の永きにわたり数学を担当され，常に厳正な教育姿勢のなかにも終始懇篤な温情をもって，学生を教育・指導され，多数の優秀なる教育者・研究者

の育成に貢献されました。

この間，理学部数学担当教官として，理学部及び数学科の整備・充実に尽力されました。

一方，研究面では，整数論に関するものを中心に代数学の諸分野において幅広く，例えばある意味で完全に非可換な群について重要な結果を導き，テデキント整域についてはそのideal transform による特徴づけに成功するなど，その研究は高い評価を受けました。更に近年続けている二次形式の整数論に関するものとして二次形式のウィット環についての研究，あるいは相対的代数拡大体の一連の研究は学会において注目されています。

また，日本数学会の評議員を歴任されるなど，学会の発展にも寄与され，特に，昭和60年度秋季の日本数学会が本学で開催された際には，大会副委員長を務められ，このほか，富山県の数学教育学会の副会長としても長年活躍されるなど学術の振興及び地域の発展に貢献されました。



**名誉教授**  
**廣岡脩二**  
**東京帝国大学理学部**  
**化学科卒業**  
**理学博士**

昭和26年12月富山大学助手（工学部），同28年2月同講師，同30年3月同助教授，同39年2月同教授となり，36年有余の永きにわたり，終始熱心に学生の教育・指導に専念され，工業技術者，教育研究者等多数の人材育成に貢献されました。

この間，昭和54年6月から2期4年間富山大学評議員として，本学の発展に大きく寄与されました。

一方研究面では，重要な合成原料としてのテレフタル酸のトルエンのクロメチル化を経る製法を研究し，目的のパラ体の生成が，文献と異なり60%以下であることを指摘した。また，C，H，O以外にNやSを含む有機化合物，例えば尿素，チオ尿素類及び複素環化合物やウラシル類のスルホンアミド型誘導体の合成を行い，ジチアジンやチアジジン環，さらにはアセチレン構造を含む一部生理活性の新化合物を多数得る等の業績を挙げ，これらの成果は，その他の研究業績と併せて，学会誌掲載論文23編に公表されている。

また，日本化学会代議員，高分子学会理事及び同学会北陸支部長，有機合成化学協会評議員を歴任し，学会の発展にも寄与されました。



名誉教授  
位崎敏男  
京都帝国大学工学部  
冶金学科卒業  
工学博士

昭和21年1月高岡工業専門学校講師，同23年3月同校教授，同26年3月富山大学助教授（工学部），同36年4月同教授となり，42年有余の永きにわたり，終始熱心に学生の教育・指導に専念され，工業技術者，教育研究者等多数の人材育成に貢献されました。

この間，昭和26年7月から2年間富山大学附属図書館工学部分館長，同56年6月から3期6年間富山大学評議員及び同58年4月から2期4年間富山大学工学部長として，本学の発展に大きく寄与されました。

一方研究面では，電解，鋳造，腐食，非鉄金属製錬など極めて多方面にわたっており，電解関係では，金属セレン薄膜の電解析出法，鋳造関係では，高圧鋳造法の基礎となる鋳造材に対する静水加圧の効果とその作用機構等の研究を行い，多くの成果を挙げた。また，腐食関係では，主としてアルミニウム及びその合金の孔食機構を解明し，実用アルミニウム材料の防食対策に多くの指針を与えた。さらに製錬関係については，製錬生成相間の異相平衡に関する平衡論的研究，金属硫化物の焙焼反応の速度論的研究，難溶性鉱石の直接浸出法に関する開発研究，溶媒抽出法の湿式製錬への応用研究等，乾式及び湿式製錬に関する幅広い基礎研究を行い顕著な成果を挙げ，その業績は高く評価されている。

また，日本金属学会評議員，日本鋳業会評議員，学

術審議会専門委員，日本学術振興会非鉄冶金第69委員会委員等を歴任し，学会の発展にも寄与されました。



名誉教授  
杉本新平  
京都帝国大学文学部哲学科  
卒業

昭和23年5月任文部教官富山大学薬学専門学校，同25年9月兼富山大学講師（文理学部），同26年3月富山大学講師（文理学部），同31年4月同助教授，同42年4月同教養部設置同助教授，同43年1月同教授となり，今日まで約40年間の永きにわたり，終始熱心に学生の教育・指導に専念され多数の人材育成に貢献されました。

この間，昭和45年2月から同47年2月まで富山大学附属図書館長，また，教養部長を昭和49年4月から同55年3月までと，昭和59年4月から同63年3月までの計5期10年間にわたり併任されるなど，延べ13年間にわたる評議員を務め本学の管理運営と充実発展のため多大な貢献をされました。

一方，研究面では，該博な学殖と豊かな人生経験に基づく活発な問題意識と卓越した思索力を背景としてカント・ヘーゲルあるいは西田哲学とグリーンとの思想上の相互関係ないし同異を解明するという倫理学上の画期的な成果を生むとともに，大学・善美等の問題も取り上げて「大学論私註」「茶に於ける道と美について」等の名論文に結実され，学界でもその成果は高く評価されています。

## 学位取得者

取得者 工学部 助手 高橋隆一  
学位の種類 工学博士（東京工業大学）  
取得年月日 昭和63年3月31日

学位論文名 封じ込め磁界を用いた磁性体高速スパッタ法の開発に関する研究

◎ 構内での自動車等の運転は，教育・研究に支障を来さないよう安全運転に努め定められた交通方法，歩行者の安全及び騒音防止に努めましょう!!





講 師 藤田 安啓

助 教 授 唐津 博

工 学 部

文 部 技 官 酒井 充

講 師 河野 三郎

《電話番号変更》

経済学部

助 教 授 小倉 利丸

《電話新設》

経済学部

助 教 授 山口 孝道

主 要 行 事

本 部

- 4月4日 部課長会議
- 11日 入学式（於：富山市公会堂）  
新入生オリエンテーション  
（教養部，学生部，保健管理センター，附  
属図書館）
- 11～12日 昭和63年度国立学校施設実態調査の説明会  
（於：東京医科歯科大学）
- 12日 会計係長会議  
新入生オリエンテーション（各学部）  
新入生健康診断
- 13～14日 新入生オリエンテーション（学生団体・生  
協）
- 14日 総合大学院検討委員会自然科学部会
- 15日 第1回評議会
- 18日 部課長会議  
第1回事務協議会
- 19日 第1回入学試験管理委員会・第1回入学者  
選抜方法研究委員会合同委員会
- 20日 営繕関係，一般設備費等要求説明（於：文  
部省）  
定期健康診断（工学部）
- 21日 第1回学寮補導委員会

- 第1回授業料減免選考委員会
- 第1回補導協議会
- 22日 第47回東海・北陸地区国立大学等施設部課  
長会議（於：名古屋工業大学）
- 25日 名誉教授称号記授与式  
総合大学院検討委員会  
国際交流委員会  
第1回学務関係係長会議
- 26日 総合大学院検討委員会
- 26～27日 第73回東海・北陸地区国立学校等会計部課  
長会議（於：豊橋技術科学大学）
- 27～28日 積算指針昭和63年度版説明会  
（於：京都工芸繊維大学）
- 28日 庶務係長会議

人 文 学 部

- 4月1日 係長会議
- 8日 教務委員会  
教授会  
人事教授会
- 12日 新入学生オリエンテーション・健康診断  
人文科学研究科新入学生オリエンテーショ  
ン

- 13日 補導委員会（持ち回り）  
 係長会議  
 職業補導委員会  
 入学者選抜方法検討委員会  
 前学期授業開始
- 20日 教授会  
 人事教授会  
 人文科学研究科委員会
- 21日 事務連絡会
- 27日 紀要委員会  
 将来計画委員会・予算委員会の合同会議  
 補導委員会  
 入学者選抜方法検討委員会  
 就職説明会
- 28日 教育実習委員会  
 免税物品使用状況調査

## 教育学部

- 4月5日 情報教育課程設置準備委員会
- 6日 教務委員会  
 補導委員会  
 教務・補導合同委員会  
 教授会
- 7日 授業開始  
 附属小学校，附属幼稚園第一学期始業式
- 8日 附属小学校入学式  
 附属中学校，附属養護学校第一学期始業式
- 9日 附属中学校，附属養護学校入学式
- 11日 附属幼稚園入園式
- 12日 新入生オリエンテーション及び健康診断  
 入学者選抜方法検討委員会
- 13日 図書委員会
- 14日 情報教育課程設置準備委員会
- 20日 人事教授会
- 21日 情報教育課程設置準備委員会
- 26日 教務委員会
- 27日 予算委員会  
 補導委員会  
 カリキュラム委員会

## 経済学部

- 4月7日 学部教務委員会  
 教授会
- 9日 「夜間主コース」専門教育課程移行オリエンテーション
- 11日 「昼・夜間主コース」前学期授業開始  
 「夜間主コース」新入生オリエンテーション
- 12日 「昼間主コース」新入生オリエンテーション及び「昼・夜間主コース」  
 新入生健康診断
- 19日 学部補導委員会（持ち回り）
- 20日 論集委員会  
 経済学部及び教養部教務委員会委員の合同会議
- 22日 改組経過報告書作成委員会
- 25日 日本海経済研究所運営委員会
- 26日 学部補導委員会  
 各種委員選考委員会
- 27日 学部教務委員会  
 学部入学方法検討委員会  
 人事教授会  
 教授会
- 28日 学部職業補導委員会

## 理学部

- 4月1日 係長会議
- 7日 教授会  
 人事教授会
- 8日 補導委員会（持ち回り）
- 12日 新入学生オリエンテーション・健康診断
- 13日 係長会議
- 14日 前学期授業開始
- 21日 事務連絡会
- 23日 学科主任，教務委員会の合同会議
- 25日 学科主任会議  
 入学試験改善委員会
- 26日 教育実習委員会  
 補導委員会（持ち回り）
- 27日 教授会  
 理学研究科委員会  
 人事教授会
- 28日 免税物品使用状況調査

## 工 学 部

- 4月5日 学部教務委員会  
6日 教授会  
工学研究科委員会  
専任教授会  
8日 学部補導委員会  
係長連絡会  
12日 新入生オリエンテーション、新入生健康診断  
入学試験検討委員会専門部会  
13日 学科主任会議・学部改革検討委員会合同会議  
20日 学科主任会議  
事故対策委員会  
25日 事故対策委員会  
27日 学部補導委員会  
28日 学科主任会議  
学科主任会議・学部改革検討委員会合同会議

## 教 養 部

- 4月5日 補導委員会  
6日 教務委員会  
教授会  
人事教授会

- 11日 教養部オリエンテーション  
12日 前学期授業開始  
夜間主コース前学期授業開始  
13日 将来計画委員会  
20日 視聴覚教育委員会  
補導委員会  
教務委員会  
26日 図書委員会  
27日 紀要委員会  
教務委員会

## 附 属 図 書 館

- 4月8日 係長事務打合せ会  
20日 図書館業務電算化ワーキンググループ打合せ会  
22日 係長事務打合せ会  
26日 第39回北信越地区国立大学図書館協議会  
(於：信州大学)

## 保 健 管 理 セ ン タ ー

- 4月11日 新入生オリエンテーション  
12日 新入生健康診断  
20日 定期健康診断(工学部3・4年生、大学院生)

◎ 退庁、退室の際には、戸締りの徹底・電気、ガスの消し忘れ、タバコの吸殻の後始末に十分注意し、盗難の防止・火災の予防に心がけましょう!!

◎ 電気、ガス、水の省エネ・省資源に協力しましょう!!

資 料

昭和63年度入学者数

・学 部

学部	学科(課程)	募 集 人 員	入学者数	入 学 者							
				男	女	県 内	県 外	現 役	浪 人	大学検定	
人 文	人 文 学 科	95	95	32	63	37(30)	58(33)	78(55)	17(8)	0	
	語 学 文 学 科	95	95	22	73	55(47)	40(26)	78(65)	17(8)	0	
	計	190	190	54	136	92(77)	98(59)	156(120)	34(16)	0	
教 育	小学校教員養成課程	100	125	41	84	88(61)	37(23)	106(74)	19(10)	0	
	中学校教員養成課程	50	70	34	36	40(27)	30(9)	52(31)	18(5)	0	
	養護学校教員養成課程	20	19	4	15	7(7)	12(8)	17(15)	2(0)	0	
	幼稚園教員養成課程	30	27	0	27	20(20)	7(7)	25(25)	2(2)	0	
	情報教育課程	40	40	10	30	28(24)	12(6)	34(29)	6(1)	0	
	計	240	281	89	192	183(139)	98(53)	234(174)	47(18)	0	
経 済	昼間主 コース	経 済 学 科	144	144	125	19	58(14)	86(5)	106(19)	38(0)	0
		経 営 学 科	124	124	99	25	47(14)	77(11)	95(23)	29(2)	0
		経 営 法 学 科	102	102	79	23	31(11)	71(12)	71(16)	31(7)	0
		計	370	370	303	67	136(39)	234(28)	272(58)	98(9)	0
	夜間主 コース	経 済 学 科	20	20	10	10	14(8)	6(2)	11(7)	9(3)	0
		経 営 学 科	20	22	17	5	14(5)	8(0)	9(2)	13(3)	0
		経 営 法 学 科	20	21	18	3	11(2)	10(1)	8(0)	13(3)	0
		計	60	63	45	18	39(15)	24(3)	28(9)	35(9)	0
理 学	数 学 学 科	43	43	31	12	14(5)	29(7)	30(7)	13(5)	0	
	物 理 学 科	47	35	35	35	0	15(0)	20(0)	28(0)	7(0)	0
			12	12	10	2	4(0)	8(2)	3(0)	9(2)	0
	化 学 学 科	43	43	24	19	24(12)	19(7)	32(16)	11(3)	0	
	生 物 学 科	35	35	22	13	7(4)	28(9)	19(6)	16(7)	0	
	地 球 学 科	32	32	25	7	7(3)	25(4)	21(5)	11(2)	0	
	計	200	200	147	53	71(24)	129(29)	133(34)	67(19)	0	
工 学	電 気 工 学 科	56	56	54	2	21(2)	35(0)	36(2)	20(0)	0	
	工 業 化 学 科	50	50	42	8	10(4)	40(4)	31(6)	19(2)	0	
	金 属 工 学 科	43	43	43	0	15(0)	28(0)	22(0)	21(0)	0	
	機 械 工 学 科	56	56	56	0	11(0)	45(0)	34(0)	22(0)	0	
	生 産 機 械 工 学 科	45	45	44	1	12(0)	33(1)	28(0)	17(1)	0	
	化 学 工 学 科	46	46	46	0	5(0)	41(0)	26(0)	20(0)	0	
	電 子 工 学 科	46	46	45	1	8(0)	38(1)	34(0)	12(1)	0	
	計	342	342	330	12	82(6)	260(6)	211(8)	131(4)	0	
合 計		1,402	1,446	968	478	603(300)	843(178)	1,034(48)	412(75)	0	

(注) 1. ( )内数字は女子で内数を示す。  
 2. 人文学部、経済学部「夜間主コース」入学者の浪人の欄には社会人入学者を含む。  
 3. 理学部物理学科の下段は定員一部留保第2次募集の人数を示す。  
 4. 私費外国人留学生在工学部の電気工学科に1名、電子工学科に2名入学しているが、本表からは除いてある。

## ・大学院

区	分	募集人員	入学者数	入 学 者 内 訳			
				男	女	県 内	県 外
人 文 研 究 科 学 科	日 本 ・ 東 洋 文 化 専 攻	5	8	5	3	6(3)	2(0)
	西 洋 文 化 専 攻	5	4	2	2	4(2)	0(0)
	計	10	12	7	5	10(5)	2(0)
理 学 研 究 科	数 学 専 攻	8	4	4	0	4(0)	0(0)
	物 理 学 専 攻	8	13	13	0	11(0)	2(0)
	化 学 専 攻	10	5	3	2	5(2)	0(0)
	生 物 学 専 攻	8	3	3	0	1(0)	2(0)
	地 球 科 学 専 攻	8	9	9	0	9(0)	0(0)
	計	42	34	32	2	30(2)	4(0)
工 学 研 究 科	電 気 工 学 専 攻	10	9	9	0	8(0)	1(0)
	工 業 化 学 専 攻	10	8	8	0	8(0)	0(0)
	金 属 工 学 専 攻	8	9	9	0	9(0)	0(0)
	機 械 工 学 専 攻	10	10	10	0	10(0)	0(0)
	生 産 機 械 工 学 専 攻	8	11	11	0	10(0)	1(0)
	化 学 工 学 専 攻	8	7	7	0	7(0)	0(0)
	電 子 工 学 専 攻	8	9	9	0	7(0)	2(0)
	計	62	63	63	0	59(0)	4(0)
合 計	114	109	102	7	99(7)	10(0)	

(注) ( ) 内数字は女子で内数を示す。

## ・専攻科

区	分	募集人員	入学者数	入 学 者 内 訳			
				男	女	県 内	県 外
教 育 専 攻 科		5	2	1	1	1(1)	1(0)
経 済 学 専 攻 科		10	6	6	0	5(0)	1(0)
計		15	8	7	1	6(1)	2(0)

(注) ( ) 内数字は女子で内数を示す。

昭和63年度 学部等学生数 (63. 5. 1現在)

学 部	学科(課程)	入 学 定 員			総定員	一 般 教 育 課 程						専 門 教 育 課 程						合 計				
		60入	61. 62入	63入		1 年 次 計		2 年 次 計		3 年 次 計		4 年 次 計		年 次 計		男	女	計				
						男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				男	女		
人文学部	人文学科	90	95	95	375	32	63	95	32	69	101	196	32	76	108	37	69	106	214	133	277	410
	語文学科	80	95	95	365	22	73	95	18	82	100	195	13	79	92	21	69	90	182	74	303	377
教育学部	計	170	190	190	740	54	136	190	50	151	201	391	45	155	200	58	138	196	396	207	580	787
	小学校教員養成課程	140	140	100	520	41	84	125	30	111	141	266	34	105	139	37	107	144	283	142	407	549
	中学校教員養成課程	50	50	50	200	34	36	70	31	38	69	139	16	27	43	25	33	58	101	106	134	240
	養護学校教員養成課程	20	20	20	80	4	15	19	1	17	18	37	2	17	19	4	16	20	39	11	65	76
	幼稚園教員養成課程	30	30	30	120	0	27	27	0	26	26	53	0	29	29	0	28	28	57	0	110	110
情報教育課程	0	0	0	40	10	30	40	0	0	0	40	0	0	0	0	0	0	0	0	10	30	40
計	240	240	240	960	89	192	281	62	192	254	535	52	178	230	66	184	250	480	269	746	1,015	
経済学部	経済学科	120	144	144	562	125	19	144	140	22	162	306	118	19	137	132	12	144	281	515	72	587
	経営学科	120	124	124	492	99	25	124	101	41	142	266	88	31	119	121	26	147	266	409	123	532
	主	60	102	102	366	79	23	102	100	19	119	221	75	18	93	60	9	69	162	314	69	383
	小計	300	370	370	1,410	303	67	370	341	82	423	793	281	68	349	313	47	360	709	1,238	264	1,502
	夜間	0	20	20	60	10	10	20	16	4	20	40	13	4	17	0	0	0	17	39	18	57
主	0	20	20	60	17	5	22	17	6	23	45	9	7	16	0	0	0	16	43	18	61	
小計	0	20	20	60	18	3	21	18	2	20	41	12	3	15	0	0	0	15	48	8	56	
計	0	60	60	180	45	18	63	51	12	63	126	34	14	48	0	0	0	48	130	44	174	
計	300	430	430	1,590	348	85	433	392	94	486	919	315	82	357	313	47	360	757	1,368	308	1,676	
理学部	数学科	40	43	43	169	31	12	43	38	11	49	92	50	18	68	33	13	46	114	152	54	206
	物理学科	40	47	47	181	45	2	47	54	4	58	105	50	3	53	33	5	38	91	182	14	196
	化学科	40	43	43	169	24	19	43	23	21	44	87	39	22	61	24	13	37	98	110	75	185
	生物学科	30	35	35	135	22	13	35	26	15	41	176	33	8	41	24	7	31	72	105	43	148
	地球科学科	30	32	32	126	25	7	32	36	4	40	72	34	4	38	23	5	28	66	118	20	138
計	180	200	200	780	147	53	200	177	55	232	432	206	55	261	137	43	180	441	667	206	873	
工学部	電気工学科	50	53	56	212	55	2	57	60	0	60	117	57	1	58	49	0	49	107	221	3	224
	工業化学科	45	48	50	191	42	8	50	56	3	59	109	56	4	60	29	7	36	96	183	22	205
	金属工学科	40	43	43	169	43	0	43	48	0	48	91	58	0	58	34	0	34	92	183	0	183
	機械工学科	50	53	56	212	56	0	56	63	1	64	120	60	0	60	61	0	61	121	240	1	241
	生産機械工学科	40	43	45	171	44	1	45	49	2	51	96	56	0	56	33	0	33	89	182	3	185
化学工学科	40	43	46	172	46	0	46	56	2	58	104	49	4	53	30	2	32	85	181	8	189	
電子工学科	40	43	46	172	47	1	48	59	0	59	107	54	0	54	34	0	34	88	194	1	195	
計	305	326	342	1,299	333	12	345	391	8	399	744	390	9	399	270	9	279	678	1,384	38	1,422	
合 計	1,195	1,386	1,402	5,369	971	478	1,449	1,072	500	1,572	3,021	1,008	479	1,487	844	421	1,265	2,752	3,895	1,878	5,773	

## ・大学院

区 分	入学 定員	総 定員	1 年 次			2 年 次			合 計			
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	
人 文 科 研 究 学 科	日 本 ・ 東 洋 文 化 専 攻	5	10	5	3	8	7	1	8	12	4	16
	西 洋 文 化 専 攻	5	10	2	2	4	2	1	3	4	3	7
	計	10	20	7	5	12	9	2	11	16	7	23
理 学 研 究 科	数 学 専 攻	8	16	4	0	4	2	0	2	6	0	6
	物 理 学 専 攻	8	16	13	0	13	10	0	10	23	0	23
	化 学 専 攻	10	20	3	2	5	8	1	9	11	3	14
	生 物 学 専 攻	8	16	3	0	3	4	1	5	7	1	8
	地 球 科 学 専 攻	8	16	9	0	9	5	0	5	14	0	14
	計	42	84	32	2	34	29	2	31	61	4	65
工 学 研 究 科	電 気 工 学 専 攻	10	20	9	0	9	8	0	8	17	0	17
	工 業 化 学 専 攻	10	20	8	0	8	9	0	9	17	0	17
	金 属 工 学 専 攻	8	16	9	0	9	9	0	9	18	0	18
	機 械 工 学 専 攻	10	20	10	0	10	7	0	7	17	0	17
	生 産 機 械 工 学 専 攻	8	16	11	0	11	4	0	4	15	0	15
	化 学 工 学 専 攻	8	16	7	0	7	7	0	7	14	0	14
	電 子 工 学 専 攻	8	16	9	0	9	12	0	12	21	0	21
	計	62	124	63	0	63	56	0	56	119	0	119
合 計	114	228	102	7	109	94	4	98	196	11	207	

## ・専攻科

区 分	入学定員	男	女	計
教 育 専 攻 科	5	1	1	2
経 済 学 専 攻 科	10	6	0	6
合 計	15	7	1	8

昭和63年度聴講生，研究生数  
(63. 5. 1現在)

区 分	聴 講 生			研 究 生		
	男	女	計	男	女	計
人文学部	3	6	9	1	3	4
教育学部	4	1	5	0	0	0
経済学部	1	2	3	0	0	0
理学部	0	0	0	1	0	1
工学部	4	0	4	1	0	1
教養部	0	0	0	1	0	1
合 計	12	9	21	4	3	7

学部卒以上	12	7	19	4	3	7
上記以外	0	2	2	0	0	0
合 計	12	9	21	4	3	7

編 集 富山大学庶務部庶務課  
富山市五福3190  
印刷所 あけぼの企画株式会社  
富山市住吉町1丁目5-18  
電話 (24) 1755(代)